

2022年7月20日
神戸学院大学キャリアセンター勉強会

未来をつくろう

～ 明石市長からの応援メッセージ～

明石市長 泉房穂
(元衆議院議員・弁護士・社会福祉士)



1. 私のこども時代・学生時代
2. 就職後の3つの世界
 - (1) マスコミ (NHK と テレビ朝日)
 - (2) 専門職 (弁護士 と 社会福祉士)
 - (3) 政治家 (国会議員 と 市長)
3. 明石のまちの好循環
4. 発想の転換とメッセージ

1 私のこども時代・学生時代

こども時代

障害を持って生まれた弟

《こどもの頃からの変わらぬ思い》

私には階段が必要だ。なぜなら私は鳥のように飛べないからだ。

「お金がないから」「スペースがないから」という理由で階段は作れません、
と言われたら困ってしまう。

車椅子で移動する人にはスロープやエレベーターが必要だ。
なぜなら歩けないからだ。

階段がないビルや駅はないが、スロープやエレベーターは、お金やスペース
がないからという理由が通り、それで“あたりまえ”とされてしまっている。

その“あたりまえ”そのものを変えていきたい。

そう思って、私は政治家を志した。

▶ 地元の小学校・中学校・県立高校から猛勉強の末、東大へ



▶ **市民活動**に明け暮れた大学時代

▶ そして、**放浪の旅**へ…



2 就職後の3つの世界

マスコミ

NHK と テレビ朝日

- ▶ 大学卒業後、初めての就職先はNHK

ディレクターとして番組制作に携わる



- ▶ その後、縁あってテレビ朝日へ

「朝まで生テレビ！」と

「ニュースステーション」を担当



2019年8月にはパネリストとして出演 5

▶ 庶民派**弁護士**として活動

明石市内に法律事務所を開設



司法

どちらも必要

▶ その後、**社会福祉士**の資格を取得

手話の勉強も継続中



福祉

- ▶ 故 石井紘基 衆議院議員 との出会いが
きっかけとなり、**国会議員**の道へ



- ▶ わずか69票差で選挙に勝ち、
こどもの頃から“なる”と決めていた**市長**に



1期目・2011～2015

▶ 暴言を理由に市長を辞職

子育て層・高校生が街頭で署名活動

▶ 得票率7割超で選ばれ、再び市長に

30代、無党派層は9割が支持

2019年5月
国会(衆議院)出席



2022年6月
国会(参議院)出席



3 明石のまちの好循環

市の概要



時のまち

子午線上に建つ
明石市立天文科学館



海のみち

明石鯛
明石焼



歴史のみち

人口 約30万人

面積 約50km²



世界最大級の明石海峡大橋



11/12・13
第41回
全国豊かな
海づくり大会
in 明石

明石のまちの好循環

人口
9年連続増

人口

③

出生率

1.70

(2018年)

91.2%

の市民が
住みやすい

安心

②

明石市

にぎわい

来街者

7割増

商業地 地価

7年連続上昇

子育て支援

施策

①

⑤

財源

市税収入

8年連続増

5つの無料化など

① 施策(1) 明石市独自の5つの無料化

- 1 医療費 18才までの全員
- 2 保育料 第2子以降の全員
- 3 おむつ 満1歳まで (宅配も)
- 4 給食費 中学生
- 5 遊び場 親子とも

すべて
所得制限
なし

すべて
自己負担
なし

①

施策(2)

寄り添う支援

明石発!全国初!の施策

1 **養育費** の立替払 

2 親子の **面会交流** 支援 

3 **無戸籍児** 支援 

4 **児童扶養手当** の毎月支給 

5 **こども食堂** 全小学校区で開設 

6 **児童相談所** の改革 

①

施策(3)

コロナ禍での支援策

明石市独自の
コロナ対策

7 大学の学費の立替払

8 高校進学への給付型奨学金

9 ひとり親家庭に さらに5万円

10 すべてのこどもへの10万円

11 生理用品の無料配布

①

施策(4)

環境の整備

～ 質も量も拡充 ～

1 少人数学級

小学校1年生は30人学級（2016年～）

中学校も35人学級へ（2021年4月から段階的に実施）

小中一貫校は全学年30人学級に（2021年4月～）



2 学童保育

指導員の半数以上が教員免許あり

市独自で認定資格の研修を実施



3 保育所整備

6年間で5,900人の受入枠増（2016年の2.3倍）

虐待防止・社会的養育の充実

児童相談所の新設

- ・全国で9年ぶり
- ・国基準の2倍の職員を配置

あかし里親100%プロジェクト

全国初

見守りおむつ宅配便

- ・アウトリーチ支援

早期の気づきと支援

妊婦全数面接

乳幼児全数面接

あかし版こども食堂

・妊娠期から子どもを支援

・子どもの健康を100%確認

・全28小学校区に開設

学びを応援

中学校給食の無償化

30人学級の導入

本のまちの推進

- ・食育、地産地消
- ・アレルギー対応なども

・まずは小学校1年生から

- ・駅前に図書館新設
- ・ブックスタート
- &ブックセカンド(県内初)

子育てを応援

高校生までの医療費無料化

第2子以降の保育料無料化

大型遊具を備えた「あかしこども広場」

・所得制限なし

・所得制限なし

・中核市規模では全国初

- ・入場料無料の駅前施設

寄り添う支援

離婚前後の養育支援

全国初

児童扶養手当の実質毎月支給

全国初

無戸籍者支援

全国初

こどもの未来は社会の未来

(対象)

すべての子どもたちを

誰一人として見捨てない ⇔ × 貧困家庭限定

(主体)

まちのみんなで

行政や地域や市民みんな ⇔ × 親だけに責任

(程度)

本気で応援すれば

あれもこれも全部やる ⇔ × 予算の範囲内

(効果)

まちのみんなが幸せになる

まちの好循環 ⇔ × 社会の分断

明石のまちの好循環

人口
9年連続増

人口

③

出生率

1.70

(2018年)

来街者

7割増

商業地 地価

7年連続上昇

市税収入

8年連続増

91.2%
の市民が
住みやすい

安心

②

にぎわい

④

子育て支援

施策

①

財源

⑤

5つの無料化など

2

安心

市民満足度が

大きく上昇



大きく上昇

生活満足度
 関西**1**位
 全国**2**位
 市版SDGs調査
 2020

91.2%
 の市民が
 住みやすい



こんなところが
 評価されています

住んでいる地域が
 住みやすいと回答した人の割合
 ※まちづくり市民意識調査から(2019年実施)

子育てするなら
 やっぱり明石



1位 子育て環境の充実

2位 本のまちの推進

3位 良好な
 都市環境の整備

全国戻りたい街
 ランキング 2021 **NO.1**

明石市

第**1**位

市外に住んで改めて
 明石の良さを
 感じてもらったのね。



全国戻りたい街ランキング 2021

1位 明石市(兵庫県)	9位 流山市(千葉県)
2位 福岡市(福岡県)	10位 逗子市(神奈川県)
3位 三豊市(香川県)	11位 西宮市(兵庫県)
4位 太宰府市(福岡県)	12位 港区(東京都)
5位 松本市(長野県)	13位 草津市(滋賀県)
6位 札幌市(北海道)	14位 目黒区(東京都)
7位 糸島市(福岡県)	15位 藤沢市(神奈川県)
7位 石垣市(沖縄県)	16位 芦屋市(兵庫県)

- 中核市
- 政令指定都市
- 特別区

※2021年10月発表。株式会社グンズが運営する地域応援サイト「生活ガイド.com」で、生まれ育った街と住んでいる別の市区町村が満員会員のの中で、住みたい街に生まれ育った街を選んでいる人の割合をランキング。2019年10月1日～2021年10月4日にログインした会員25371人が対象。

3

人口

人口9年連続増

30万人突破 +13,000人

過去最多を 更新中

子育て層が大幅増

25~34歳と
0~4歳の 転入超過

出生率

1.70
(2018)

1.62
(2020)

国 1.42

国 1.33

1.50
(2011)

国 1.39

290959

290856

290657

290909

291357

293409

293710

295908

297920

299094

303601

明石市の総人口
各年10月1日

2010 2011 2012 2013 2014 2015 2016 2017 2018 2019 2020 2021

中核市 人口増加率 NO.1

明石市

第1位

5年間で1万人
増えました!



30万人
突破!!



明石市の人口

304,123人

(2021年11月1日現在)

人口が増えた全国の中核市

増加率(%)			増加率(%)		
1位	明石市(兵庫県)	3.55	6位	豊中市(大阪府)	1.60
2位	船橋市(千葉県)	3.22	7位	尼崎市(兵庫県)	1.58
3位	柏市(千葉県)	3.04	8位	越谷市(埼玉県)	1.26
4位	吹田市(大阪府)	3.02	9位	大津市(滋賀県)	1.24
5位	川口市(埼玉県)	2.83	10位	川越市(埼玉県)	1.12

※国勢調査2020年(速報値)と2015年を比較した人口増加率のランキング

明石市の社会動態

～子育て層が大幅に増加～



地域経済 過去最高益！

にぎわい

明石駅南側の 人通りが急増



多くの人が行き交う明石駅前

2016年全面リニューアル
図書館、子育て施設や
新店舗もオープン
まちが明るく
生まれ変わりました

駅南への新規出店が**2倍超**
地価は**7年連続**で上昇*

➤ 来訪者

1.7倍 増加

19,650人 → 33,115人
(2015) (2018)

➤ 新規出店

2.4倍 達成

目標/年12店 → 実績/年**29**店
(2015) (2020)



未来に
つなぐ
都市経営

発想の
転換

＼使い道を大胆に変更／

税込増加＋予算のシフトで財源確保へ

税込 増えています!

主要税収入*が8年で
32億円増



(※個人市民税、固定資産税、都市計画税の合計額 / 2020年度)

貯金 増えています!

基金残高*が
121億円に

(2021年度見込)

コロナ禍でも
9億円の増
(2021年度見込)

70億円

(2010年度)



(※財政基金、減債基金、特別会計等財政健全化基金の合計額)

借金 減っています!

実質公債費比率 **2.8%**

(2018年度実績)

自由に使えるお金のうち
借金の返済に使うお金の
割合が小さい

県内
29市中
1位*



好循環の拡大

さらなる施策の充実へ

1 さらになる **施策** やさしい社会を明石から

高齢者

認知症になっても
安心して暮らせるまちづくり

みんなで
安心 支える 寄り添う
認知症
あんしんプロジェクト

認知症 後見支援
後見基金

全国初

障害者

手話言語・障害者
コミュニケーション条例

全国初

全国初

全国初

障害者配慮条例

合理的配慮の提供を支援する
公的助成制度スタート

全国初

旧優生保護法被害者
支援条例

あかし
インクルーシブ条例

犯罪被害者

立替支援金制度、再提訴費用補助、特例給付金制度

全国初

更生支援

更生支援等条例

全国初

LGBTQ+

パートナーシップ・ファミリーシップ制度

全国初

2 さらに安心 すべての人にやさしいまち

誰ひとり置き去りにしない
インクルーシブ社会へ



明石のまちが目指す
インクルーシブなまちは
これ



× 1 排除 exclusion
少数者を多数者の
集団から外す考え方

× 2 分離 segregation
多数者と少数者を
別々にする考え方

× 3 統合 integration
多数者と少数者が
分かれた状態で
同じ環境にいる

4 共生 inclusion

障害の有無、性別、年齢、
国籍などに関係なく
お互いに支え合いながら
誰もが暮らしやすいまちを
つくること



こども

高齢者

LGBTQ+

障害者

ひきこもり

犯罪
被害者

更生
支援

先導的

共生社会ホストタウン

全国初

県内初

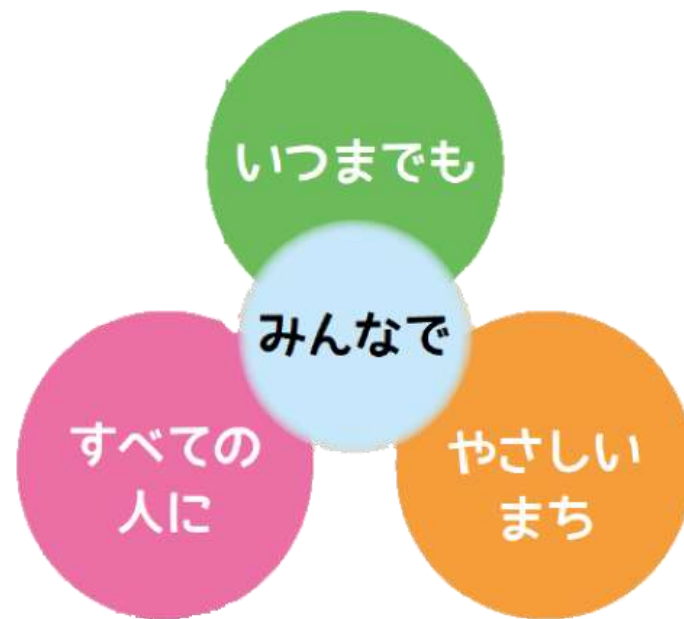
SDGs 未来都市

やさしい社会 を 明石から

やさしい社会 とは
お互いに 助けあい 支えあう

あたりまえの社会

やさしいまち は 強いまち



明石から とは …

●
国を待つことなく

先駆性

● ●
明石から 始める

明石だけでなく

普遍性

● ●
明石から 全国に広げる

4 発想の転換とメッセージ

～ ① **上から**

② **一律**

③ **これまでどおり**

3つの**発想の転換**

の時代は終わった～

⇒ **市民目線** で **地方ごと** に

新しい政治 に挑戦

①

上から

お上意識



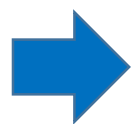
自治意識

上から目線
行政目線

地域目線
市民目線

市民に近いのは国よりも地方

(国民の願い 叫び声が 近くで聞こえる)



国の動きを待つことなく

地方こそが **リーダーシップ** を発揮すべき

②

一律

横並び主義



地域の特性

全国一律

それぞれの判断

同じであるべき

違って構わない

どの町も隣町と同じ 我が町ではない

(感染状況も 市民ニーズも 同じではない)



国は地方に **権限を委譲** し

地方はその責任を果たすべき

③

これまでどおり

前例主義



新しい政治

これまでどおり
ゆっくり
丁寧に

時代状況に即し
スピード感を持って
臨機応変に

昨日と同じ明日ではない

(いつまでも昭和や平成のままではない)



政治家には

新しい社会をつくりだす責任がある

これからの人生で身に付けてほしいこと

1 やさしさ

想像力、真摯に聞く姿勢

2 かしこさ

洞察力、本質を見抜く力

3 ほんの少しの 強さ

責任感、諦めない勇気

未来をつくらう



ご清聴ありがとうございました

～プロフィール～ 泉房穂 いずみ ふさほ

- ▶ 1963年 明石生まれ
漁師の長男として誕生



障害のある家族がいたこともあり
幼いころから福祉に目覚める



東大在学中は
駒場寮の寮長

- ▶ 元 NHKディレクター



民放移籍後
「朝まで生テレビ」なども担当



その後 石井こうき衆議院議員の
秘書となる

石井氏の勧めもあり
世のため、人のため弁護士に



- 2003年～2005年 衆議院議員
超党派での議員立法に奔走



- その後 明石で庶民派弁護士として活動
社会福祉士の資格も取得



- 2011年 明石市長選挙
69票差で初当選



得票率7割で再選 現在3期目



手話検定2級、柔道3段、明石タコ検定初代達人、ベストファーザー賞in関西受賞